

# Green Campus

2012.09  
47



発行：高崎商科大学 高崎商科大学大学院 高崎商科大学短期大学部  
〒370-1214 群馬県高崎市根小屋町741 TEL (027) 347-3399(代) FAX (027) 347-3389 <http://www.tuc.ac.jp>

## PCD プロフェッショナル キャリア ディベロップメント

### バイリンガル プログラム

2013年  
4月

# スタート!

難関資格の合格を目指して、2011年より設置しているPCDプログラムに2013年4月より新たにバイリンガルプログラムが加わります。同プログラムはグローバルな視点を持ち、英語コミュニケーション能力のある人材へのニーズに因るために、実践的な英語力を身に付けることを目的として設置します。1年次に国内の「ブリティッシュヒルズ」に留学をすることで、段階的に英語への抵抗心を払拭し、オーストラリア（1年次）とアメリカ（2年次）への留学に備えます。全3回の留学を通して、ビジネスで通用する生きた語学力を身に付け、最終的にTOEICで800点以上、また、外資系企業や観光業界などで活躍する進路を目指します。

1年次		2年次	
6月	国内留学ブリティッシュヒルズ（2泊3日）	8～9月	海外留学アメリカ（5週間）
8～9月	海外留学オーストラリア（2週間）	4～3月	●語学ゼミ
4～3月	●語学ゼミ	4～7月	●TOEIC 730点コース（教室&通信講座）
4～7月	●TOEIC 600点～730点コース（教室&通信講座）	4～6月	●海外留学事前オリエンテーション
5～7月	●海外留学事前オリエンテーション	5・10・12月	●試験
10・12月	●試験	2年次5月のTOEICで730点以上取得した場合、同年8月のアメリカ（カリフォルニア大学）への留学費用が奨学金として給付されます。	
1～3月	●TOEIC 730点コース	※他の留学先を希望する場合は、費用が発生します。	
特待生として入学した場合、1年次の国内・海外留学費用が免除されます。			
※オーストラリア（クイーンズランド大学）以外の留学先を希望する場合は、費用が発生します。			

TOEIC 800点以上取得へ



▲2年次にアメリカ留学を予定していますが、他の留学先も輪転します。

## 目次

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>01 PCDバイリンガルプログラムスタート</li> <li>02 高崎祭ボランティア参加<br/>4大学合同企業説明会<br/>七夕祭・学内施設の拡充<br/>ディズニー研修旅行</li> <li>03 国際・地域交流センター紹介</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>後期公開講座スケジュール紹介</li> <li>04・05 平成23年度決算報告</li> <li>06 教員紹介コーナー 梶田ひかる先生</li> <li>07 キャリアサポート室から<br/>内定者コメント（森田智也さん・津久田愛未さん）</li> <li>08 彩霞祭情報・同窓会情報</li> </ul> |
|--|---|

## 高崎祭にボランティア スタッフを派遣しました



8月4日と5日に行われました高崎祭に総勢約100名の大学生・短大生がボランティアスタッフとして参加しました。当日は天気にも恵まれ、スタッフが主に担当した福引コーナーでは、来場者を誘導し、福引を引いてもらい、景品を手渡す作業を息の合った連携でしっかりと行いました。同祭へのボランティア参加はこれで3年目となりました。来年以降も協力していく予定です。



## 4大学合同企業説明会 が開催されました

7月7日(土)に群馬県の4文系私立大学の共同企画による合同企業説明会が前橋国際大学にて開催されました。本学、前橋国際大学、上武大学、関東学園大学の4大学による企画で、昨年に引き続き今回は第2回目となり、およそ180名の学生が参加しました。

説明会には48社もの企業にご参加いただき、参加学生も13:00から16:00の3時間をフルに使って各社のブースを訪問していました。学生によっては、他大学の学生の意欲やモチベー

ションに刺激を受けたのではないかと思います。就職活動は自分を大きく成長させる大事なイベントです。10月20日(土)には再度4大学企画による合同企業説明会(会場は本学を予定)を実施する予定です。



## 七夕祭 一鎮魂と融和一 が開催されました

7月13日(金)18:00~20:00学内において学生会執行部主催の七夕祭一鎮魂と融和一が開催されました。同祭は、昨年の東日本大震災における死者への鎮魂と学生同士、大学と地域の融合を目的に開かれました。会場には、在学生だけでなく、保護者・卒業生や近隣の方々、教職員の家族も訪れ、盛大なお祭りとなりました。

当日は、雨天のため当初予定されていた屋外から学生ホールに会場を移し、ビンゴゲームや浴衣コンテストが行われ、本学音楽系サークルによる演奏が会場を盛り上げていました。また用意された竹には、「被災地の皆様が一日でも早く笑顔になれますように」などの願い事が書かれた短冊が沢山装飾されました。

七夕に欠かせない竹は地域の方から、会場内や大学周辺の雰囲気盛り上げた提灯は卒業生のご協力をいただきました。



## 学内施設の拡充を 行っています



新しく設置されたトレーニングルーム

短期大学部に来年度「健康・スポーツ・ビューティーコース」が設置されることに伴い、2号館1階にトレーニングルームが完成しました。ルーム内には、ウォーキングやジョギングに使えるランニングマシン、胸筋を鍛えることの出来るバタフライマシンなどを設置しています。他にもトレーニング・バイクマシンを設置しており、コースの授業で使われる他、全学生にも開放していく予定です。

また、1号館学生ホールのテーブルと椅子の全面入れ替えと床のパネルの張替えを行いました。今までの座席数より若干減りましたが、席と席の間は広くなり、学生がより利用しやすいホールに仕上がりました。

現在も全館でトイレの改装工事なども行っており、学生生活の向上を目指し、学内施設の拡充を行っています。



改装後の1号館学生ホール

## ディズニー研修旅行に 行ってきました

9月12日(水)に東京ディズニーランドへ研修旅行に行ってきました。当日は晴天に恵まれ、約300名の学



生が参加しました。同研修旅行は学生会執行部による企画・運営で実施されています。ディズニーランドのキャストの態度や振る舞いからホスピタリティ精神を学ぶ場と位置付けています。また、大学と短期大学の1年生にとっては、参加することで今まで以上に友好を深める場としても活用されています。毎年好評を得ている日帰り研修旅行ですが、学生会執行部は参加者からの感想を聞き、その反省を活かして今後の企画などを行っていくとのこと。



## 国際・地域交流 センターの紹介

2009年4月に高崎商科大学の1号館2階にオープンしたセンターは、学生・教職員をはじめ地域の皆様も気楽に立ち寄れる場所として親しまれています。主な業務は、公開講座、地域創造フォーラムの開催、学生ボランティア活動の支援、センターニュースの発行、地域の方々との交流等です。これまで、石碑の路(いしぶみのみち)再生事業、小中学校の夏休み補習授業や部活動交流、商大シネマ、銀河鉄道999号キャラクター乗車体験等を行ってきました。センターの活動が少しでも地域の皆様のお役に立ち、学生の社会貢献力と大学の

地域貢献に結びついていくことができればと願っております。来学の際には是非お立ち寄り下さい。



▲ 平成24年度 国際・地域交流  
センター センター員

## 後期公開講座 スケジュール紹介

### ◎『知って納得!! 葬儀のアレコレ』

日時:10月6日 土曜日  
13:00~15:00

講師:高橋 進氏

(NPO法人 葬儀を考えるNPO東京 代表理事)

受講料:500円 定員:50名

受付開始日:受付中

### ◎『笑う門には福来る』(全2回)

日時:10月13日・20日 土曜日  
10:30~12:00

第1回 毎日できる笑いの会話術  
の練習方法

第2回 状況に応じた笑い

一初対面、家族、友人、スピーチ

講師:瀬沼文彰氏

(タレント・西武文理大学 講師)

受講料:1,000円 定員:50名

受付開始日:受付中

### ◎『あなたもストレスに強くなれる』 (全2回)

日時:11月10日・17日 土曜日  
10:30~12:00

講師:高橋 修氏

(高崎商科大学短期大学部 准教授)

参加費:1,000円 定員:50名

受付開始日:10月1日

### ◎『PC講座 中級 ワードの技』 (全2回)

日時:11月10日・17日 土曜日  
13:30~15:30

第1回 文章の装飾、フォーマット

第2回 図や表の差し込み

講師:竹上 健氏

(高崎商科大学商学部 教授)

参加費:1,000円 定員:50名

受付開始日:10月1日

### ◎『初級 傾聴講座

~耳プラス目と心で聴く~』

日時:12月8日 土曜日

13:30~15:30

講師:大井宗太郎氏

(高崎商科大学短期大学部 兼任講師)

参加費:500円 定員:30名

受付開始日:11月1日

(協力:日本橋カウンセリング研究会(NCK))

### ◎『地域連携講座』

日時:9月29日 土曜日

10月20日 土曜日

13:00~14:45

講師:観音山丘陵ネットの会

参加費:無料 定員:なし

受付開始日:受付中

### ◎『紙芝居から学ぶ地域の歴史』

日時:10月28日 日曜日

10:00~12:00

参加費:無料 定員:50名

受付開始日:受付中

### 【参加申し込み方法】

メールもしくはFAXをご利用の場合は、以下の必要事項をご記入の上お申し込みください。お電話の場合は担当者が以下の内容をお伺い致します。

①ご希望の講座名

②参加者のお名前(フリガナ)

③ご住所・郵便番号

④日中のご連絡先

### 【参加申し込み先】

高崎商科大学 国際・地域交流センター

TEL:027-347-3399

FAX:027-347-3389

E-mail:koukai-kouza@uv.tuc.ac.jp

※講師・内容など、都合により変更となる可能性があります。詳細は本学ホームページ「公開講座」をご覧ください。

# 平成23年度決算報告

学校法人 高崎商科大学

平成23年度決算につきましては、平成24年5月29日開催の理事会にて承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き「正常状態」に位置しており、財政基盤は安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の充実に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

## ①資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成23年度の資金収支状況について、収入は合計で4,441,910千円となり、手数料収入、寄付金収入、補助金収入及び資産運用収入で増加したものの、学生生徒等納付金収入、事業収入、雑収入等が減少したことで、予算に対しては61,280千円の減収となりました。

一方、支出は人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等が減少したため、次年度繰越支払資金は予算に対し43,796千円増加し、2,060,474千円となりました。

## 資金収支計算書

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,554,831,000	1,548,348,810	6,482,190	人件費支出	1,220,733,956	1,213,553,263	7,180,693
手数料収入	50,090,440	50,668,790	△578,350	教育研究経費支出	436,364,036	422,550,160	13,813,876
寄付金収入	11,885,000	16,928,268	△5,043,268	管理経費支出	162,784,108	143,431,085	19,353,023
補助金収入	518,128,433	519,684,483	△1,556,050	借入金等利息支出	4,997,094	4,997,094	0
資産運用収入	21,200,000	21,426,274	△226,274	借入金等返済支出	37,125,318	37,125,318	0
資産売却収入	10,656,000	10,656,000	0	施設関係支出	111,425,703	101,124,703	10,301,000
事業収入	10,363,500	10,179,858	183,642	設備関係支出	72,430,212	69,131,120	3,299,092
雑収入	61,465,248	60,853,777	611,471	資産運用支出	352,270,000	352,270,000	0
前受金収入	270,411,750	226,722,750	43,689,000	その他の支出	47,525,136	46,698,895	826,241
その他の収入	204,474,236	200,649,251	3,824,985	〔予備費〕	43,827,428		43,827,428
資金収入調整勘定	△323,164,748	△337,057,344	13,892,596	資金支出調整勘定	△2,970,619	△9,445,246	6,474,627
前年度繰越支払資金	2,112,849,419	2,112,849,419		次年度繰越支払資金	2,016,677,906	2,060,473,944	△43,796,038
収入の部合計	4,503,190,278	4,441,910,336	61,279,942	支出の部合計	4,503,190,278	4,441,910,336	61,279,942

## ②消費収支計算書の状況

消費収支計算書は、その年度の授業料や寄付金等、負債とならない収入（帰属収入）から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と減価償却額や資産処分差額等を含む、その年度に消費する支出（消費支出）との均衡状態を明らかにし、これにより経営状況を把握するための書類です。（企業会計の損益計算書に類似していますが、基本金組入額を控除する点が大きく異なります。）

平成23年度の帰属収入合計は、予算に対して601千円増の2,243,835千円となりました。また、基本金組入額は、予算に対し23,660千円減の192,936千円となりました。この結果、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、予算比24,261千円増の2,050,899千円となりました。

これに対して消費支出は、予算に対し43,984千円減の1,967,865千円となりました。

これらの結果、平成23年度の消費収支差額（＝消費収入－消費支出）は、83,034千円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額の263,812千円を加えた翌年度繰越消費収入超過額は、346,846千円となりました。

## 消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部				消費支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,554,831,000	1,548,348,810	6,482,190	人件費	1,237,871,141	1,230,690,448	7,180,693
手数料	50,090,440	50,668,790	△578,350	教育研究経費	583,543,501	570,164,954	13,378,547
寄付金	12,985,000	17,846,222	△4,861,222	管理経費	170,814,108	151,144,524	19,669,584
補助金	518,128,433	519,684,483	△1,556,050	借入金等利息	4,997,094	4,997,094	0
資産運用収入	21,200,000	21,426,274	△226,274	資産処分差額	534,398	534,398	0
資産売却差額	0	656,000	△656,000	徴収不能額	10,333,700	10,333,700	0
事業収入	10,363,500	10,179,858	183,642	〔予備費〕	3,754,865		3,754,865
雑収入	75,636,243	75,024,772	611,471	消費支出の部合計	2,011,848,807	1,967,865,118	43,983,689
帰属収入合計	2,243,234,616	2,243,835,209	△600,593	当年度消費収入超過額	14,789,284	83,034,060	
基本金組入額合計	△216,596,525	△192,936,031	△23,660,494	前年度繰越消費収入超過額	263,811,681	263,811,681	
消費収入の部合計	2,026,638,091	2,050,899,178	△24,261,087	翌年度繰越消費収入超過額	278,600,965	346,845,741	

## ③貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。平成23年度末の資産総額は、9,542,164千円で前年度末に比べ193,495千円増加しました。また、負債総額は、676,590千円で前年度末に比べ82,475千円減少しました。

資産の部は、有形固定資産が1,750千円の増加、その他の固定資産が208,883千円増加し、固定資産全体では7,396,047千円となり前年度に比べ210,632千円増加しました。また、流動資産は2,146,118千円で前年度に比べ17,137千円減少しました。

負債の部は、固定負債が366,423千円で前年度に比べ26,299千円の減少、流動負債は310,167千円で前年度に比べ56,176千円減少しました。

基本金の部は、合計で8,518,729千円となり、前年度に比べ192,936千円増加しました。これらの結果、消費収支差額は前年度に比べ83,034千円増加し、翌年度繰越消費収入超過額は346,846千円となりました。

なお、資産総額から負債総額を差し引いた正味資産は8,865,575千円で、前年度に比べ275,970千円増加しました。

## 貸借対照表

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,396,046,739	7,185,414,322	210,632,417	固定負債	366,422,730	392,722,160	△26,299,430
有形固定資産	5,951,488,468	5,949,738,597	1,749,871	長期借入金	249,930,000	277,700,000	△27,770,000
土地	2,470,350,469	2,470,350,469	0	退職給与引当金	114,623,205	111,657,015	2,966,190
建物	2,709,011,732	2,777,990,306	△68,978,574	長期未払金	1,869,525	3,365,145	△1,495,620
建物附属設備	104,205,335	116,226,582	△12,021,247	流動負債	310,166,878	366,342,470	△56,175,592
構築物	201,351,068	120,537,115	80,813,953	短期借入金	27,770,000	37,125,318	△9,355,318
教育研究用機器備品	112,119,413	110,765,708	1,353,705	前受金	226,722,750	275,178,500	△48,455,750
その他の機器備品	6,947,696	8,792,169	△1,844,473	その他	55,674,128	54,038,652	1,635,476
図書	333,481,917	329,209,976	4,271,941	負債の部合計	676,589,608	759,064,630	△82,475,022
車輛	7,175,838	1,214,942	5,960,896	基本金の部			
建設仮勘定	6,845,000	14,651,330	△7,806,330	科目	本年度末	前年度末	増減
その他の固定資産	1,444,558,271	1,235,675,725	208,882,546	第1号基本金	8,326,792,277	8,135,856,246	190,936,031
有価証券	1,197,487,000	1,007,487,000	190,000,000	第3号基本金	48,936,631	47,936,631	1,000,000
退職金引当預金	147,000,000	147,000,000	0	第4号基本金	143,000,000	142,000,000	1,000,000
第3号基本金引当資産	48,936,631	47,936,631	1,000,000	基本金の部合計	8,518,728,908	8,325,792,877	192,936,031
特定支出引当特定預金	21,000,000	16,730,000	4,270,000	消費収支差額の部			
その他	30,134,640	16,522,094	13,612,546	科目	本年度末	前年度末	増減
流動資産	2,146,117,518	2,163,254,866	△17,137,348	翌年度繰越消費収入超過額	346,845,741	263,811,681	83,034,060
現金預金	2,060,473,944	2,112,849,419	△52,375,475	消費収支差額の部合計	346,845,741	263,811,681	83,034,060
その他	85,643,574	50,405,447	35,238,127	科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部合計	9,542,164,257	9,348,669,188	193,495,069	負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	9,542,164,257	9,348,669,188	193,495,069

# 教員紹介コーナー

高崎商科大学商学部 特任教授 梶田 ひかる 先生

## プロフィール

- ・東京農工大学工学部入学、2年次に南カリフォルニア大学化学科に転入し、卒業
- ・同大学大学院工学部 OR 理学修士取得
- ・日本アイ・ピー・エムにて製品研究開発とシステムズエンジニアリングに従事
- ・その後、日通総合研究所に入社。本格的にロジスティクスの研究を開始
- ・デロイトトーマツコンサルティングに入社。SCMのコンサルティングに従事
- ・仕事と平行して電気通信大学大学院情報システム学科博士後期課程に入学。学術博士を取得
- ・2011年より現職



## 大学とロジスティクス教育

私がロジスティクスという言葉と出会ったのは大学院の時である。コンサルタントで非常勤講師の先生が、「この新しい考え方をロジスティクスという」と話された。当時は意味が分からなかったが、そのシーンは記憶している。

本格的にロジスティクス研究に携わったのは、日通総研に転職してからである。当時の日本の物流・在庫問題の状況は、私には不思議な世界であった。大学で習ったことが実践で正しく使われていなかったのである。例えば在庫管理方式について言えば、先生にしつこいくらいに言われた「定番需要にしか使えない」という基本が守られておらず、結果として、上手く運用できていない会社が多くあった。教科書では当たり前の投資対効果計算についても、知っている人が少ない。大学で習っていないまま会社に入って本を斜め読みしながら使っていたことが原因である。だから、在庫の山を抱えるし、物流コストは下がらない。その本ですら、まともなものはほとんどなかった。米国の教科書の翻訳はあるが、発行から年数がたったものの翻訳であったり、誤訳が多かったりする。

大学で基礎をしっかりと学ぶことは重要である。形だけ真似しても、経営は上手くいかない。不幸なことに、日本のほとんどの大学ではロジスティクスを教えてい

ない。1科目でもあれば良い方である。そのような現状を微力ながら打破するために、私は、日本の学生、社会人向けに最新状況を踏まえた論説や教育用資料の作成に取り組んでいる。

本学商学科では、ロジスティクス関連のカリキュラムが充実している。しっかりと基礎を学び、ぜひ実践に役立てて欲しい。

## ロジスティクスを楽しんで学んで欲しい

企業のロジスティクスは面白みがいっぱいある。最寄り品メーカーの在庫分析をすると、売れない商品や特売の状況がわかる。新聞等で「〇〇店の斬新な取り組み」と取り上げられていても、バックヤードでは納品者泣かせを行っていたりする。マスコミで取り上げられている面と異なる顔が見えるので、記事の行間を読めるようになる。こういう書けない話は、講義の中では雑談として話しているが、残念なことに、学生はノートを写すのに夢中で、聞いてくれているのはごくわずかしかない。

業界内で横のつながりが強いのもこの業界の特徴である。物流業はたいてい複数企業の物流を受託するため、いろいろな業種の物流に携われる。メーカー、卸、小売のロジスティクス担当者間でも業種横断型の研究会が山のようにある。複数社の実態を知ることができるので、退屈することがない。

在庫問題は特に興味深い。原因が組織にあったり、会計にあったり、人事にあったり、マーケティングにあったり等、複数の側面から研究できる。ほとんどの科目との関連があるので、単独の学問ではなく、履修した他の講義と関連づけて学んで欲しいと願っている。



梶田先生の授業風景

# キャリアサポート 室から

## ■ 大学院2年生、大学4年生、 短大2年生へ

いよいよ後期、就職活動も後半戦となります。大学4年生・短大2年生の就職活動状況は、ほぼ昨年度同様のペースです。しかし一方で、求人票受付数は昨年度を大きく上回っているため、学生にとっては活動しやすい環境と言えるでしょう。この時期は内定を辞退する学生が多くなり、企業も秋募集に乗り出してきています。つまり、もともと遅い時期の採用活動を考えている企業も含めると、まだ多くの求人があるということです。粘り強く、そして決してあきらめずに活動を継続することが内定への道だと思えます。

## ■ 大学院1年生、大学3年生、 短大1年生へ ~ 就活を楽しもう ~

さあ皆さん、後期が始まるといよいよ本格的に就職活動が始まります。一生を決める大切な活動ですので、後悔の無いよう積極的に取り組みましょう。

12月になると企業へのアプローチが始まります。昨年度からスケジュールがタイトになり、各企業の説明会やイベント日程が重なってしまうことが多く見受けられる様になりました。つまり、就活を有効に進めるカギは「早い時期から動き出すこと」となります。12月の時点でどの企業の話を知りたいかある程度自分の中で選別しておかなければ、どのイベントを優先するか判断がつかなくなります。すると「流れに乗り遅れる」ということになりかねないのです。

就職活動は大変負担のかかる作業です。だからこそ皆さんには「就活を楽しむ」ことを意識してもらいたいです。多くの大人達と話し、様々な業界を見て、たくさんの学生と知り合える機会はそうありません。また、様々な壁を乗り越えなければならない場面も多くあります。それも就活の一つだと思えます。この活動を通して、皆さんは大きく成長すると思えます。みなさんが社会人になってから「あの時、一生懸命やってよかったな」と思える活動にしましょう。

## ■ 内定者によるボランティアスタッフ!!

この10月より皆さんがより多くの情報と支援を得られる機会を増やすため、大学4年生の内定者4名にキャリアサポート室のサポートスタッフをお願いしました。「教職員には話づらいけど、先輩になら…」と思っている学生は是非活用してみるといいでしょう。また自分が志望している業界に内定している先輩の話を知るのも大変有効だと思えます。シフト表をキャリアサポート室前に掲示する予定ですので、是非見てみてください。



(左から) 笠井光くん、富岡駿弥くん、坂田めぐみさん、黒田達弥くん

# 内定者コメント

## 『量より質を貫いた就職活動』

森田智也さん(流通情報学部4年)

内定先: ネットトヨタ高崎



私の就職活動は、就職活動による学業阻害を防ぐ配慮として、例年より遅く12月から始まりました。スーツやバッグなどを買い、一通り形だけの準備は整えただけで私の就職活動は始まりました。肝心の選考対策はというと、やろうやろうとは思っていたものの、なかなか始めなかった記憶があります。

12、1月は合同企業説明会や個別説明会になるべく沢山通い、早いところは2月から選考が始まりました。私が筆記や面接の選考対策を始めたのが大体1月くらいのことでした。ところが筆記のSPIが予想以上にできないのです。何でもっと早くやっておかなかったのかと後悔していても仕方ないと思い、2月後半にある筆記の選考までに参考書を3冊終わらせる勢いで勉強しました。

私は自分の就職活動において、一つ決めていたことがあります。それは「量より質」を重視することでした。ダメ元で多くの会社を受けるのではなく、少なくともいいから一社一社の選考に本気で臨みました。履歴書一枚書くにも一日かけ、企業の外側だけでなく内面を知るために色々な資料を参考にしたり、実際に客として伺ったりしました。

そしてこの場を借りて、お世話になった方々にはお礼を言いたいです。最終面接の当日の時間ぎりぎりまでアドバイスを下さったキャリアサポートの方々、心労で体調を崩した時に助けて下さったアルバイト先の方々、そして家族。私はやっと社会人としての一歩を踏み出せるスタートラインに立てただけです。一人前の社会人になり、お世話になった皆さまに恩返しをできるような人間になっていきたいと思っています。

## 『私の就職活動』

津久田愛未さん(短期大学部2年)

内定先: 群馬県信用組合



私が本格的に就職活動を決めたのは昨年の12月頃からでした。この頃から「このような企業で働きたい」という考えがあったため、合同企業説明会では志望していた業種、職種の企業を中心にお話をお伺いしました。2月下旬から個別説明会に参加し、初めて選考を受けたのは4月上旬でした。最初のうちは面接を受ける前に筆記試験や書類選考で落とされてしまうことも多く、このままで大丈夫なのかと不安に思うときもたくさんありました。一時期は毎日のようにキャリアサポート室に通い、アドバイスを頂いたり相談に乗って下さったりして気合いを入れていたりしました。最終的には第一志望だった企業の選考に残ることはできませんでしたが、その企業と同じ金融機関での内定を頂くことができました。

就職活動でさまざまな企業を受けていったことにより、きっかけはさまざまですが企業の方や就活生の方とお話をする機会がたくさんありました。はじめはなかなか話すことが出来なかった私も、慣れていくうちに自分から話しかけたりするようになりました。就職活動は大変なことばかりでなく自分を成長させてくれたいい機会でした。支えてくださった方には本当に感謝しております。

# ◆ 彩霞祭情報 ◆

## 10月27日(土)

- 11:00~11:30 Saika Wind Ensemble
- 12:00~12:45 お笑いライブ
- 13:00~14:00 着ぐるみショー (おじゃる丸)
- 14:00~14:55 FMぐんま公開収録
- 15:00~16:00 軽音ライブ

## 10月28日(日)

- 11:00~12:00 パルーンアートショー
- 12:00~13:00 ピンゴ大会
- 13:30~14:30 アコースティックライブ (ゲストあり)
- 14:45~15:45 女装コンテスト&コスプレ
- 16:00~ 芸能人ライブ

イベントスケジュールは予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください

▶ 第23回彩霞祭ポスター



今年の彩霞祭はパルーンアートショーやおじゃる丸ショーなど親子で楽しめるイベントが盛りだくさんです！おまつり広場には中に入って遊べるフワフワドームもありますよ！ぜひご家族でいらしてくださいね(^-^\*)その他にも楽しいイベントが満載!!!無料のお笑いライブもぜひ見に来て下さいn^ω^n☆

お問い合わせ先

彩霞祭実行委員会実行委員室ダイヤルイン  
TEL (027) 347-9343

彩霞祭公式HP(PC)

http://saika.shouka.info/

E-mail:saikasai-sogo@shouka.info



# ◆ 同窓会情報 ◆

卒業生、在学生のみなさま、今年の夏はどのようにお過ごしでしたでしょうか？群馬県館林市は毎日のように日本一の最高気温でした。私の近隣の熊谷市でも連日37度の気温で非常に暑苦しい毎日でした。本業の酒屋さんも暑いので売れたでしょう！と皆様にいわれますが景気はとても冷え切っていて飲食店配達専門の酒屋さんとしては厳しい夏でした。



同窓会長 程塚守さん

でも同窓会は熱く活動しております。今年は商大在学生と交流をはかりたいと、はじめて学生会、彩霞祭実行委員の方たちと交流会を開催いたしました。いろいろと話をしましたが、僕らの時代よりも熱いものを感じました。これからも熱く活動してください。同窓会もバックアップいたしますよ！

今年から単年度の卒業生の方たちに同期会事業を手助けしたいと予算のバックアップを少しですが始めました！その第一号として2005年度の卒業生の方たちが5月26日に同期会を高崎市内で開催いたしました。予想以上の参加人数で大盛況とのことでした。詳しいことは同窓会ホームページをごらんください。

そして今年も彩霞祭の初日10月27日に高崎駅東口のエテルナ高崎でホームカミングデーを開催いたします。昨年は平成22年度の卒業式が東日本大震災で中止となり予定していた謝恩会も中止となりました。そこで同窓会では平成22年度の卒業生の方に何かできないかと考え、ホームカミングデーでせめて謝恩会の雰囲気だけでもあじわってもらおうと無料招待学年として参加を呼びかけ、謝恩会風のパーティとして開催しました。その他の学年の卒業生も大勢参加していただき本当にありがとうございました。

彩霞祭では今年も同窓会のブースを設け、メモリアルコーナーを設置いたします。昔の自分や友人などを懐かしんでみてはいかがですか！ぜひ見に来て下さい。

そして第4回同窓会会長杯ゴルフコンペを11月23日にローズベイクントリークラブで開催いたします。昨年は高崎のサンコー72カントリークラブで開催し、世代の違う同窓生同士で楽しいひと時を過ごすことができました。初めての方でも大歓迎いたします。お友達をお誘いの上ぶるってご参加ください。

在学生、卒業生のみなさん、何かご意見等ありましたらドシドシお声を寄せ下さい。商科大学のためにこれからの同窓会も熱く活動していきます。

### □ ホームカミングデーのご案内

今年のテーマは、“秋の食欲を満たす会(o^-^o)”です。お料理&スイーツのバイキングと飲み放題のお酒&ドリンクを楽しみながら、大学時代の思い出や近況を語り合いませんか♪毎年好評の、豪華賞品が当たる抽選会もあります★ぜひ、お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。今回も会費無料のラッキーイヤーを設けました。今年のラッキーイヤーは、2006年3月卒業のみなさまです。大勢のご参加をお待ちしております。

開催日：2012年10月27日(土) 午後7時~(午後6時40分受付)  
場所：エテルナ高崎

(高崎市栄町22-30 TEL 027-323-1122)

会費：3,000円

申込方法：同窓会事務局まで電話またはメールにてご連絡下さい。  
※尚、当日の参加も歓迎いたします。

### □ 第4回 同窓会会長杯ゴルフコンペのご案内

開催日：2012年11月23日(金)  
場所：ローズベイクントリークラブ  
費用：参加費/2,000円  
プレー費/12,000円

競技方法：新ベリア方式  
申込方法：同窓会事務局まで電話またはメールにてご連絡下さい。

同窓会ホームページ：<http://www.tuc.ac.jp/dousou/>

連絡先：TEL 027-347-3399・Mail aim@uv.tuc.ac.jp

担当：藍(あい)・山田(やまだ)